

●中央公論新社 好評発売中●

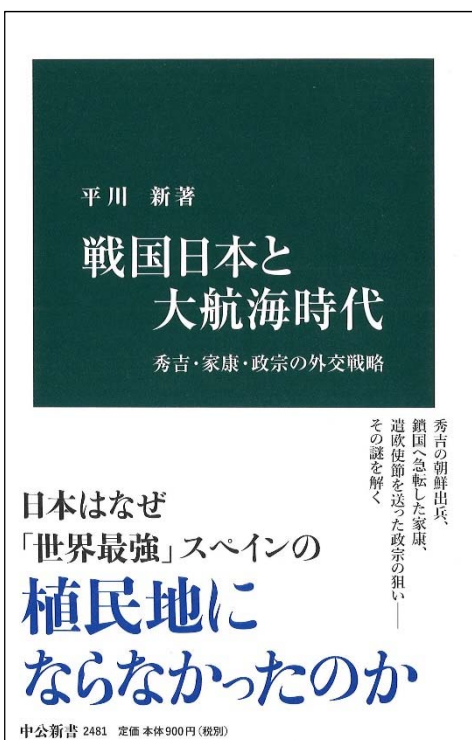
日本はなぜ「世界最強」スペインの
植民地にならなかったのか？

戦国日本と大航海時代

秀吉・家康・政宗の外交戦略

あらた
平川 新 著

(宮城学院女子大学学長・東北大学名誉教授)



秀吉の朝鮮出兵、鎖国へ急転した家康、遣欧使節を送った政宗の狙い——。「世界征服事業」を進めるスペインなどヨーロッパ列強と戦国日本との息詰まる駆け引きに迫り、数々の謎を解明するスリリングな1冊！ (定価：900円＋税)

目次

- 序章 戦国日本から「帝国」日本へ
- 第1章 大航海時代と世界の植民地化
- 第2章 信長とイエズス会
- 第3章 秀吉のアジア征服構想はなぜ生まれたか
- 第4章 家康外交の変遷
- 第5章 伊達政宗と慶長遣欧使節
- 第6章 政宗謀反の噂と家康の情報戦
- 第7章 戦国大名型外交から徳川幕府の一元外交へ
- 終章 なぜ日本は植民地にならなかったのか



1950年(昭和25)、福岡県生まれ。専門は日本近世史。東北大学東北アジア研究センター客員教授、文科省文化審議会専門部会委員、東北歴史博物館協議会会長ほか、多くの役職を務める。

著書に『伝説のなかの神—天皇と異端の近世史』(吉川弘文館)、『紛争と世論—近世民衆の政治参加』(東京大学出版会)、『近世日本の交通と地域経済』(清文堂出版)、『開国への道(「日本の歴史」第12巻)』(小学館)、『江戸時代の政治と地域社会』全2巻(編著、清文堂出版)ほか。